



つるおか
北前船
観光マップ

TSURUOKA KITAMAE MAP

「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間」
北前船寄港地・船主集落の物語



北前船寄港地・船主集落

北海道小樽市 / 北海道石狩市 / 北海道函館市 / 北海道松前町
青森県野辺地町 / 青森県鯉ヶ沢町 / 青森県深浦町 / 秋田県能代市
秋田県男鹿市 / 秋田県秋田市 / 秋田県利本荘市
秋田県にかほ市 / 山形県酒田市 / 山形県鶴岡市 / 新潟県新潟市
新潟県佐渡市 / 新潟県長岡市 / 新潟県出雲崎町 / 新潟県上越市
富山県富山市 / 富山県高岡市 / 石川県輪高市 / 石川県志賀町
石川県金沢市 / 石川県白山市 / 石川県小松市 / 石川県加賀市
福井県坂井市 / 福井県南越前町 / 福井県敦賀市
福井県小浜市 / 京都府宮津市 / 大阪府大阪市
大阪府泉佐野市 / 兵庫県神戸市 / 兵庫県高砂市
兵庫県姫路市 / 兵庫県たつの市 / 兵庫県新温泉町
兵庫県赤穂市 / 兵庫県洲本市 / 鳥取県鳥取市
鳥取県浜田市 / 岡山県倉敷市 / 香川県多度津町
広島県尾道市 / 広島県竹原市 / 広島県呉市

48

きたまえふね
北前船とは

江戸時代中期から明治30年代にかけて、日本海回りで商品を売り買いしながら大阪と北海道を結んでいた商船の総称です。単に荷物を運搬するだけでなく、寄港地で安い商品があれば買い、それが高く売れる港では積み荷を売りさばきながら、莫大な利益を上げていたのが特徴です。

日本遺産に認定されたストーリー

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

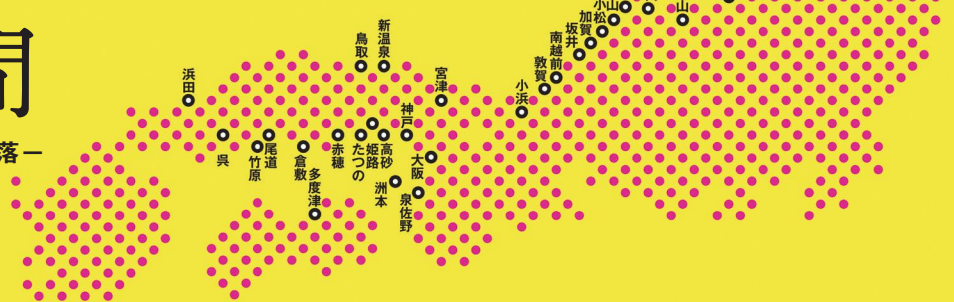
北前船ゆかりの地・鶴岡

庄内藩の城下町だった鶴岡にもその寄港地は点在しています。特に加茂地区は、城下の生活物資を陸揚げする重要港で、湾に面して廻船問屋が並んでいました。令和元年には日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に鶴岡市が追加認定され、5つの構成文化財に認定されました。その他にも北前船に関する文化財やゆかりの場所が市内各所にあります。

日本遺産

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間

—北前船寄港地・船主集落—



日本遺産とは、地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するものです。鶴岡市には、北前船寄港地のほか、出羽三山とサムライゆかりのシルクも日本遺産に認定されています。

いにしへの港町 加茂へいってみよう

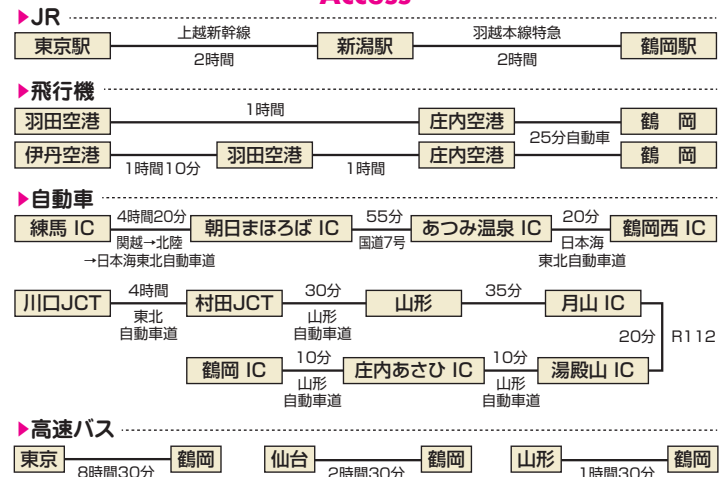
今も加茂には北前船に関する貴重な品々や文化が残されています。地元ガイドの案内でゆかりの地をめぐり、まちの歴史に触れることができます。

加茂まち歩きガイド

ガイド料800円/人 要予約・2週間前までお申し込みください。詳細は加茂コミュニティセンター TEL.0235-33-3023まで

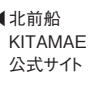
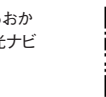


Access

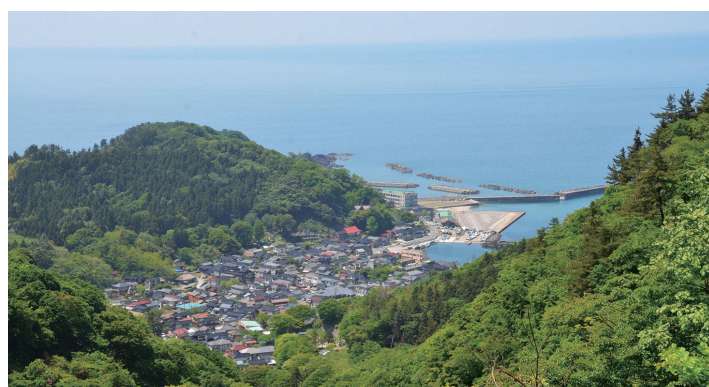


つるおか北前船観光マップ

発行 鶴岡市北前船日本遺産推進協議会
問合せ 鶴岡市商工観光部観光物産課内 TEL.0235-35-1301



01 加茂港周辺の町並み



加茂は城下の生活物資を陸揚げする重要港でした。加茂港からは主に米や酒などが運ばれ、塩や砂糖、古着、紙などが移入されました。港に面して廻船問屋が並び、北前船で栄えた当時の町割りが、今でもそのまま残っています。

岡町川沿いの白山小路は、昔は港へ向かう小舟が荷を運んでおり、河口の石造アーチや漁協下の船溜跡を見ることができます。その白山小路を横切中町通りに沿って、石名坂家、秋野茂右衛門家、長澤家など、往時を偲ばせる廻船問屋や商家が軒を連ねています。



02 石名坂家住宅主屋・蔵

加茂の町中に建つ北前船主の家屋と蔵。内蔵が鞆でつながり、表通りから裏通りに抜けられる造りと、主屋正面妻壁軒下の航海安全を祈る祈祷札が、その歴史を物語っています。間口が狭く奥行の長い敷地は加茂に良く見られ、内部は各部材を透漆で塗る豪華な造りで、1998年に登録有形文化財(建造物)になりました。

[住所] 山形県鶴岡市加茂字加茂54 ※内部の一般公開はしていません。



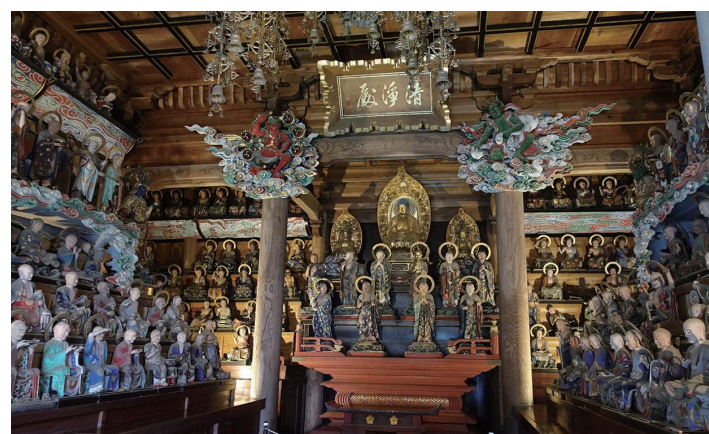
03 浄禅寺の釣鐘

加茂の西の高台にある浄禅寺には、北前船で財をなした商人たちから寄進された釣鐘があります。塩の積出港である坂越(現在の兵庫県赤穂市)から北前船で運ばれてきました。釣鐘には、誰がいつ寄進したのかが刻まれています。1990年頃までは行事鐘として使われていました。

[住所] 山形県鶴岡市加茂字大崩325



04 善寶寺五百羅漢堂



加茂から海沿いに鶴岡へ向かう途中にある善寶寺は、海の守護神・龍神の寺として全国的に知られており、四季を問わず多くの参拝者が訪れます。五百羅漢堂は北前船で財をなした商人たちの寄進によって建てられたお堂です。安置されている531体の仏像も同じく寄進により作られました。2015年、登録有形文化財(建造物)となりました。

[住所] 山形県鶴岡市下川字関根100



05 致道博物館所蔵の北前船関連資料群

鶴岡公園の西隣に位置し、鶴岡の歴史や文化を知る上で欠かせない致道博物館。元々は庄内藩の御用屋敷だった場所を博物館として公開しています。国指定重要文化財の旧西田川郡役所や、旧渋谷家住宅、旧鶴岡警察署庁舎など、貴重な歴史的建造物が移築されています。

安全と商売の成功を祈って、北前船船主により加茂の春日神社に奉納された船舶模型をはじめ、船絵馬、四爪錨、出船手形、船鑑札、船筆筒等が所蔵されています。

[住所] 山形県鶴岡市家中新町10-18





北前船 ゆかりの地を巡る おすすめ モデルコース

2 Days Model Course



1 酒田市内

旅の始まりは、北前船の拠点として「日本の中心」と言われるほど繁栄した街、酒田から。酒田駅から徒歩約20分、北前船の船主や商人たちが利用した料亭である山王くらぶや相馬樓は、当時の繁栄ぶりを彷彿させる優れた木造建築となっており、日本三大吊るし飾りの傘福の展示や製作体験、酒田舞娘の踊りや食事が楽しめます。そこから徒歩15分ほどの場所にある本間美術館では、北前船で財をなした豪商・本間家の別邸庭園「鶴舞園」が公開されています。北前船で運ばれた各地の銘石で造られた回遊式庭園で、冬期間の湾岸労働者の失業対策として築造されました。他にも、国内最大1/2スケールで再現した千石船の模型船がある日和山公園や、明治26年に建てられた米保管倉庫「山居倉庫」など、見所がたくさん。上方文化の雅な風情が色濃く残る酒田市内をゆっくり散策してみてください。

北前船KITAMAE公式サイト(酒田市)

4 加茂水族館

2日目はまず、クラゲの展示種類世界一を誇る人気の水族館へ! 色とりどりの様々なクラゲが漂う様子はとても魅力的です。ほかにも庄内の淡水魚・海水魚コーナーや、アシカ・アザラシのいる海獣エリアなど楽しさ満載。館内のレストランでは、クラゲラーメンなどのクラゲグルメのほか、北前船にちなんだメニューも提供しています。

加茂水族館HP

2 致道博物館

05 詳細は裏面

3 湯野浜温泉

宿泊は、市内4温泉の中でも寄港地加茂に程近い、湯野浜温泉がおすすめ。海岸沿いにホテルや旅館が立ち並び、開湯1000年の歴史を持つ海浜温泉郷です。平安時代に、亀が海辺の湯の中で温浴している姿を漁師が見かけたことから、当時は「亀の湯」とも呼ばれたそう。広大な砂浜と日本海に沈む夕日は絶景です。

問合せ：湯野浜温泉観光協会
TEL.0235-75-2258

5 加茂のまちあるき

01 02 03 詳細は裏面

寄港地・加茂には、3つの構成文化財の他にも北前船に関する場所がたくさんあります。各スポットには案内看板があり、自治振興会のホームページからは歴史マップがダウンロードできますので、港文化が残る町並みを眺めながら、まちあるきを楽しんでみてください。全国各地の港にある日和山は、加茂にもあります。出船入船の天候を判断するために登った山と伝えられており、加茂の港や沖まで一望できます。山頂まで5分で行けますので、天気の良い日にはぜひ自分で自由に歩いて散策を楽しむこともできますが、事前に申し込んでおけば、地元のガイドさんがまちの歴史について詳しく説明してくれます。お寺や小路、建造物などのゆかりの場所に気兼ねなく入って話が聞けるのでおすすめです。

加茂地区自治振興会HP

6 善寶寺

04 詳細は裏面

ちょっと足をのびして

7 大山の酒蔵

加茂から車で約10分の場所にある大山地区は、全国有数の酒どころ。ここで造られた酒が加茂港から北前船で運ばれました。現在も4軒の蔵元が残り、古文書や酒造りの道具などの展示や、利き酒コーナーのある施設もあります。

8 出羽三山神社

北前船に乗ってきた人たちが、加茂と大山・鶴岡・内陸を結ぶ「加茂坂峠古道」を通して、出羽三山などの山々に参詣に行ったといわれています。羽黒山頂の中心には、羽黒山、月山、湯殿山の三神をあわせて祀る三神合祭殿が建っています。

9 鼠ヶ関

鶴岡市の最南端に位置する港町、鼠ヶ関は、越後からの関門、藩の番所がありました。奥州三大古関のひとつであり、源義経ゆかりの地といわれています。庄内浜有数の漁業のまちでもあります。

鶴岡市にはあと2つの日本遺産があります!

